



プレスリリース

発表日：2025年9月8日

株式会社 JUNTEN BIO

代表取締役 河南雅成

## 株式会社 JUNTEN BIO、スタンフォード大学との共同研究契約締結を発表

株式会社 JUNTEN BIO（本社：日本）は、米国スタンフォード大学との共同研究契約（Sponsored Research Agreement）を締結したことをお知らせいたします。スタンフォードメディシンにおける本研究の責任研究者は、**佐々木一成医師**（clinical professor of surgery）および**中内啓光教授**（professor of genetics and member of Stanford Medicine’s Institute for Stem Cell Biology and Regenerative Medicine）です。本共同研究では、当社が開発している**誘導型抑制性 T 細胞**による細胞治療のさらなる発展を目指します。

### 戦略的ビジョンと研究の目的

当社は、**日本発の革新的な細胞治療を世界に届けることを目指すグローバル戦略の一環**として、スタンフォード大学との共同研究を開始いたします。当社が開発を進めている**免疫寛容誘導プラットフォーム**とスタンフォード大学の臨床・研究の専門知識を融合することで、新たな治療オプションの創出と、米国における臨床開発への明確な道筋の加速を目指します。

佐々木医師との共同研究：当社の免疫寛容誘導技術を用い、**脳死肝移植患者に対する細胞療法**における新たな誘導型抑制性 T 細胞製造法の確立を目指します。

中内教授との共同研究：**誘導型抑制性 T 細胞の免疫寛容メカニズムの詳細な解明**を行い、より高度な治療制御および幅広い臨床応用の基盤となる知見を得ることを目指します。

これらの共同研究により得られる成果を活用し、米国における IND 申請のためのデータを創出し、臨床試験の進展につなげる予定です。

当社は、スタンフォード大学との本共同研究を通じ、移植医療に新たな光をもたらす革新的な一歩を踏み出して参ります。

お問い合わせ先

株式会社 JUNTEN BIO

管理部

Email : [info@junttenbio.co.jp](mailto:info@junttenbio.co.jp)